

## セミナー①への感想

Google chrome bookやタブレットを使用した授業実施に向けて研鑽を積みたいと思っていたため、実践例の紹介が大変ありがたかったです。ICT活用のためには情報モラル教育も視野に入れた授業規律の確立に向けて下地を整えた方が良いとお話、大変参考になりました。

Googleクラスルームを有効に使いながら、一斉指導が入らない生徒やモラルの指導が必要な場合などに教員として自然体で対応していらっしゃるのが印象的でした。すでにICT利用が必須の社会に出ていく生徒には必要な経験だと思います。

生徒の様子が伝わる発表で、大変勉強になりました。

国語におけるICTの方向性について、各校国語科教員のファーストペンギンとなるべく勇気を与える発表でした。

さっそく今日から教材研究するぞー！という気になりました。ありがとうございました！

頑張ってるなあ、素晴らしいなあ、と思いました。

大変参考になりました。ありがとうございました。

Google for Education を使用した授業の実践及び成果と課題を知ることができ、大変参考になりました。失敗をおそれずやってみることが大切、いや取り組んだこと自体が成功であり、失敗はないのだと思いました。

諸事情により未視聴(すみません)

先進的な実践の数々、大変参考になりました。試行錯誤の様子がうかがえて、次年度以降の本校での授業の在り方に活用させていただきます。

細やかに生徒を見つめていらっしゃるがよくわかる実践で、非常に勉強になりました。取り組みも具体的かつ視覚的にご提示いただき、ありがたかったです。

もしICT活用するならこんな感じになったらいいなあと思えました。

新しいことを始めるための第一歩は、教員にとっても生徒にとっても大切ですね。

比較的進学校ではない学校での、ICTを活用した授業の実践状況が理解できた。生徒はしっかり受け止めつつ、新たな方法に対応している様子がよくわかった。新たなツールを活用することによって、教材研究も深まるように思ったが、結局授業規律や生徒指導はつきまとうことも理解できた。

実際の授業での発問例が多く、参考になりました。

まずやってみるという姿勢がいいなと思いました。私はパソコン等の機器に弱く、今後の国語の授業に不安しかありません。生徒と共に試行錯誤していく勇気をもらいました。

「とりあえず触ってみよう」「二人一組にして教え合おう」「上手くいったらみんなに広めよう」と、生徒への声かけが見えてくる具体的指導例で大変参考になりました。ありがとうございました。

Google for Educationを活用することの価値について改めて認識することができました。

たくさん資料を用意していただき、ありがとうございました。

こういう使い方があるのだと参考になりました。

実践経験に基づいた具体的な悩みや、その解決プロセスが提示されており、ためになる発表だったと感じました。

Chromebookの導入について生徒側から見たメリット、デメリットが示されたのが興味深かった。書くことや話すことへの抵抗がある生徒にとってメリットが大きいと感じました。

詳しい実践を発表いただき、たいへん参考になりました。

試み、改善することの繰り返しが良い授業の基盤であると実感しました。先生の熱意が伝わりました。

大変参考になりました。google classroomの利用をやってみたいと思います。

## セミナー②への感想

ICTを活用した授業改善に向けて何をどこから手を付けて良いのか途方にくれていましたが、授業1コマ全てではなく、「この単元のこの部分を」というように、活用できそうな部分から導入していく、という説明に背中を押していただきました。

学校が直面している課題にしっかり向き合って対処していこうとされている姿勢を頼もしく思いました。

BYODについて、ICTの活用について、勉強になりました。

今後の国語授業へのあり方について、示唆に富む発表内容でした。奥尻での経験を西校で生かしてください。

教師の心構えを再確認できたような気がします。ありがとうございました。

着実に進んでいるなあ、と思いました。

大変参考になりました。ありがとうございました。

セミナー①の理論編とも言うべき内容で、BYODに向けての基礎的なことが確認できました。鴫田先生には、札幌西高での実践(チャレンジ)を期待します。

諸事情により未視聴(すみません)

大規模校でのご苦労が伝わるご発表でした。御異動初年度で発表なさったことに敬意を表します。これからの実践報告を楽しみにしています。

汎用性のある実践例をご紹介いただき、大変参考になりました。ICT利用のハードルを上げずに、できることからやってみたいと思いました。

使わざるを得ないなら、提言のように効果的に活用して楽しく豊かに授業したいです。

「学びを深めるための調味料」としてのICT活用。その通りだと思います。

実践よりも「こうあるべき」という内容で、ICT教育の重要性は理解できたが、どうしたらよいかということについて、実践を深めるという点では食い足りなかった。

これからのICTを使用した教育との関わり方を考えることができました。

一人一台端末のあり方は本当に難しいです。いろいろな機種の生徒へ対応できるように勉強しようと思いました。

BYODに対してネガティブな印象をもっていたのですが、悪いことばかり考えていても進まないですし、調味料的に使うことから始めようという前向きな気持ちになりました。同じ事を想定して悩み、乗り越えている先生がいることがわかって大変心強く、また励みになりました。

国語科教育におけるICT活用に必要な観点を学ぶことができました。

「ICTは、授業に添える調味料でしかない」という説明がわかりやすかったです。

参考になりました。

ICTを取り入れる「べき」である理由を説明するのは難しいと感じていたのですが、それが述べられていたので大変感心いたしました。

BYODを踏まえた授業を構想する必要にも迫られる中、生徒にどのような国語の力(言語能力)を身に付けさせるかという視点を前提に置く必要があると改めて感じました。

試案ということで、ご苦勞されていることをお察しいたします。実践発表を期待していたので、少し、残念でした。

教育課程における国語の役割を考えさせられる内容でした。ICTの有効活用は、国語教育の充実につながると感じました。

本校もBYADをどうするか、検討しています。その上で、とても参考になる発表でした。ありがとうございました。

### セミナー③への感想

教科横断的な取り組みにばかり気を取られ、肝心の教科内での分野横断的な取り組みについて意識が抜け落ちていました。「深い学び」についても認識を新たにすることができました。

学習指導要領の深い理解に資する、大変興味深いご発表でした。国語で身に付けさせたい資質能力について、小手先の技術ではない本質的なアプローチがあったと思います。

主体的な学びについて、多くの示唆をいただきました。

内容が優れていることは今更疑いようもない。さらに、いつも高松先生の力量(誰もが追いつけない)を感じるころは、持ち時間内での説明が緻密に計算され、表現されているところ。そこに高松先生の凄みを感じます。抜群のプレゼン力は、構成、展開や視覚聴覚に響く表現力が「相手目線」だからと考えます。こういう教師に教わる生徒は幸せです。こういうところを若手・中堅は見過ごしてはならないと思います。経験値をもとにした、新学習指導要領を見据えた領域横断型の質の高い現代文読解ポイントでした。

いつも本当に勉強になります。確かな知識のうえでの思考する授業を私もやりたいです。ありがとうございました。

姿勢や態度の育成が大事なんだな、と思いました。

大変参考になりました。ありがとうございました。

さすが高松先生！という内容で、今回も期待を裏切らないところはさすがです。指導者の思考力・判断力・表現力を高めることがまずあって、その後、生徒の思考力・判断力・表現力をどう高めるかを考えることが重要なのだと思いました。高松先生は、地道な資料収集とそれらを結びつける発想力が優れているのだと思います。  
諸事情により未視聴(すみません)

申し訳ありませんが、正直申し上げ、御発表の意図が伝わりませんでした。これまでの高松先生のご発表のような内容を期待していただけに残念です。

知識や技能の習得にとどまらない、国語の力の育成とはどのようなものを教えていただきました。「主体的・対話的で深い学び」という文言がスッと腑に落ちました。

校務で席を外し、途中から視聴できませんでした。

「生徒の考えを深めるためのきっかけを計画的に与える」高松先生、いつもありがとうございます。

学習指導要領と大学入試問題の関連は理解できたが、生徒の反応や、新たな実践についての課題的が、時間も足りなかったからもう少し聞いて見たいと思った。

漢文への親しみ方を新しい切り口から学ぶことができました。

自分がいかにのんきに授業しているのかということを思い知らされました。まずは教員がしっかり勉強しないと始まりませんね。

ふだんの授業でがっちり漢文を扱うことがないので、久しぶりに脳が刺激された感じがしました。全ての学問がつながっているように、文字を越え時代を超え国を越えて共通する感覚があることは生徒にも話したいと思いました。

思考力を身につける際に必要な授業の在り方について学ぶことができました。

「情報を理解し、自分の考えの形成に生かす」ことや「情報を取り出して整理する」ことなどができるような授業にしていきたいと思いました。

参考になりました。

「自走する学び」への提言として、非常に参考になりました。

文章の理解という範囲でなく、読むことをとおして思考し、自分の考え方や生き方につなげることができる授業だと感じました。

タイトルから、来年度からの新課程の「言語文化」の先取り実践の発表かと思い期待していたのですが、盛沢山すぎて、私には難しい内容となりました。

今後求められるオンライン授業の型を示していただきました。ありがとうございました。

深い見識に圧倒されました。

#### 本セミナーに参加した目的

ICT活用に向けた授業について学びたかったため。

実践力の向上。

新学習指導やBYOD導入に向けた情報収集。

各校の実態や授業実践を知りたかったので。

とにかく、国語教育を学ぶためです。

現在の北海道高等学校国語科の状況を知るため。

最新の実践を知りたかったため。

先生方の実践や動向の情報収集（でしたが、勤務先で急遽の対応が必要となり、今回は未遂に終わりました）

各学校での実践から、自らの授業を見つめなおしたかったから。  
ICTの活用など、新しい取組について理解を深めたかったから。

授業力向上

授業改善のため

授業実践などの講義を聞き、今後の新たな知見とするため。

高松先生のお話を伺いたかったため。

国語実践の充実

普段の授業に生かすため。

国語科の教員がおらず、何か授業のヒントをもらえればと思ったからです。

ふだんは雑務に追われ、なかなか教科のことをしっかり考える時間が持てないので、自分の授業を振り返る意味も含めて、先生方のとりくみをうかがいながらじっくり国語科教育に向き合いたいと思いました。

高松先生が行われている実践について理解を深め、自らの実践に活用したかったため。

新しい学習指導要領を踏まえた授業とICT活用を積極的に進める授業のあり方について学びたかったため。

他校の先生方の実践を聞いて、少しでも自分の授業に役立てたいと思ったため。

ICTを活用した授業に興味があったから。



他校の先生のすばらしい実践から学ぶことができ、また交流の機会になるため。

多様な実践をとらえて国語の教科指導についての理解を深めたいと考え参加しました。

日ごろの授業実践の参考とするため。

授業の質の向上のため

どのような授業の工夫が生徒の力につながるのかを模索する中で、ヒントとなる事例を学びたかったため。

授業へのICTの導入について、参考にしたかった。

#### 準備・当日運営についてのご意見

特にありません。

準備、運営お疲れ様でした。ありがとうございました。  
後日でもいいので、今日の資料をダウンロードしたいです。

大変お疲れさまでした。  
時々映る東陵高校の校舎が懐かしく感じました。

オンラインで行っていただき、たいへん良かったです。事務局の皆さん、ごくろうさまでした。

たいへん充実した内容でした。準備・運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

お疲れ様でした。ありがとうございました。

ありがとうございました。おかげで学びを得ることができました。

運営の先生方、お疲れ様でした。大変見事な運営でした。

コロナ禍のなか、周到的な準備をいただきありがとうございました。オンラインでの実施そのものがICTを活用した授業のヒントになると思いました。

特にありません

オンラインでの開催に当たり、ご準備から当日の運営まで、本当にありがとうございました。コロナ禍にあっても、優れた講師のお話や他校の先生方と情報交換できる機会をいただき、感謝申し上げます。

可能であれば、講師のご発表内容を、ペーパー1枚でもよいので、事前配布していただければありがたいです。短い時間でのご発表ですので、事前に当日までのご準備、当日の運営等、コロナ禍の中大変なご苦労があったかと思います。ご実施いただき心から感謝いたします。

特にございません。

特にありません。ありがとうございました。

スムーズでした。

オンラインでの開催ということで、慣れない中準備・運営をしてくださり、ありがとうございました。

お忙しい中ありがとうございました。

連休と学校閉庁日の合間の日程だったので、学校に行く機会が少なかったため資料が手に入るかはらはらしました。学校メールを外部で見る方法がわからず、メールチェックできない環境だったので……。

コロナ禍における運営に大変苦心されたかと存じます。大変素晴らしい研修の機会をいただきありがとうございました。

事務局の皆様、講師を引き受けてくださった先生方に感謝申し上げます。

お疲れ様でした。

特に問題なし。お疲れ様でした。

とくに問題なかったです。運営の皆様大変お疲れ様でした。

遠隔での実施は大変だったかと思いますが、地元で安心して受講することができてありがたかったです。発表者の資料を事前に提供いただけるとありがたいです。

講師の先生にはお忙しいところ、発表いただきありがとうございました。また、運営に当たられた先生方も普段とは異なる状況の運営でご苦勞があったかと思います。お疲れ様です。

運営、講師の先生方のご尽力で、充実したセミナーを創っていただきました。心より感謝します。

ありがとうございました。  
次年度もZOOMを利用した研修会を企画していただければ助かります。

本研究会活性化や参加者増加に向けたアイディア

ZOOM利用ということで、参加しやすかった方もいらっしゃるのではないかと思います。資料の共有も効果的で、メモをとったり参考資料を職員室まで取りに行ったりしながら参加できたので個人的に助かりました。

学びの転換期を迎えるにあたり、困り感や推進例について、HP上での定期的な集約と情報公開。

先生方のニーズってどこにあるのだろう、と思いました。実は、先進的なもの以上に、足元を確認したいのではないかなあ、と感じています。

授業研究と共に、多くの先生が興味をひくようなメジャーな作品の文学研究的な発表があれば、効果があるかもしれません。

- ・会報に今回のセミナーの内容を少し詳しく載せて、高教研での配付に加え全校に送付する。(次年度の会員募集のときにも再配布する。)
- ・各管内の活動や高教研、道教委の事業に加え、任意団体の情報も収集し、ワンストップで発信する。

- ・初任段階教員研修の対象者の取込(できれば3月下旬か4月上旬に、期限付きを含む新採用教諭がどの学校に配属されたかを本庁担当の国語科指導主事に調べていただき、個別に叩いて確保→リスト化。このリストは新採用教諭にもメリットあり)
- ・大学生の特別参加も可能とすること(うちに来た教育実習生には宣伝しましたが、教採で忙しく断念したようです。が、下の学年を含め、潜在的な需要参加者増加に向けて、事前案内よりも、当日の様子や講師の発表内容などを事後報告として、各学校にお知らせしてはいかがでしょうか。オンラインでの参加が可能である気軽さもお伝えいただければ、と思います。

短時間でも参加者同士の交流があるとよかったかと思います。4～5人ずつのブレイクアウトルームに分けて、簡単なテーマで情報交流をするなど。

今後もオンラインの方が、遠方からも参加しやすいのではないのでしょうか。

高国研と高教研の意図的な互助。

特になし。

オンラインに慣れた先生が少しずつ増えているので、これを強みにしてほしい。子育てや部活動で忙しくても、オンラインなら時間さえ持てれば気軽に参加できます。できれば今後、状況が変わって実際の会場に集まる形で開催できるようになっても、オンライン参加も続けてもらえるとありがたいです。

特にありません。

コロナ禍後には、参加スタイルを選べるとよいのではないのでしょうか。直接参集して参加する方とZoomでの参加する方と一緒にできるとよいのではないのでしょうか。

私の勤務先では高国研のことが国語科のなかで話題にならず、教科主任に確認すると開催要項が届いていないとのことでHPを見て会員登録をしました。開催要項が学校メールで届くと、国語科内で周知しやすいのではないかと思います。

教材の共有化。

初任段階の国語教員を対象にした「授業相談室」のようなものを設置し、授業で困っていることをメール等で相談できるようにするなど、実践の紹介以外に若い先生に認知される機会を増やすことも大切かと思います。

集会ができないこのご時世で難しいかもしれませんが、やはり、高教研と一線画したワークショップ型の実践発表が適当かと思います。それであれば、明日の授業をどうしようか考えていらっしゃる先生方にもヒントとなると考えます。

国語の管理職、教諭のそれぞれがネットワークを構築し、日常的に相談したり、情報共有する仕組みがあると、年1回のセミナーがさらに充実すると思います。

会員限定で、発表をYOUTUBEにアップすれば、当日参加できない方も参加したいと思うのではないのでしょうか。

今後開講を希望する講座内容や講師について

ICTを活用した授業について

新学習指導要領やICT、評価。

授業準備、授業、評価まで一連の実践例をたくさん知ることができると嬉しいです。

ワンウェイではなく、双方向型こそが、高国研かなあ、と思っています。ワークショップ、してほしいです！

新学習指導要領や改定された指導要録に求められる観点別の評価方法。

来年は、記念の第10回セミナーでもあり集会形式で実施したいですが、加えてライブ配信やオンデマンド配信も行えれば、遠方の先生や当日参加できない先生にも参加してもらえと思いますが、どうでしょう？

高教研は毎年違う実践発表者が求められます。  
高国研は、高松先生(国語科教育におけるトップインフルエンサー)を不動のレギュラーとして据え置き、その他に新しい実践発表者を数人加える、という今回のような形がいいのではないかと思います。  
書く力を伸ばす取り組みについて

新学習指導要領について(計画と実践)

特になし。

グループワークを生かした授業について

オンラインではなかなか厳しいことだとは思いますが、Googleworkspaceなどを活用した初心者向けの国語の授業を受講してみたいです。

タブレットを使用した授業例、読書活動。

新学習指導要領の観点を意識した具体的な実践等が学べたら幸いです。

ICT活用についてGoogleやOSの専門業者から活用の広がりなどの説明を受ける分科会があってもよい。

今回のようにICTや新しい学習指導要領に関連したものが良いと思います。

国語科におけるユニバーサルデザイン。  
国語科における指導と評価の一体化。

来年度や再来年度では、新科目における実践や大学入試への影響の分析などの講座があるとうれしいです。

「話すこと・聞くこと」の領域の力を身に付けさせるための単元について、ヒントをえることができるような講座があればありがたいです。

授業実践のワークショップ。

単元の構成(年間指導計画)の実際と、その作成意図。

実際の考査を使つての、出題意図をご教示いただくもの。

ICTを使った授業実践。chromebookを使用した国語の授業報告。観点別評価の実際。ルーブリックの活用方法。シラバス作成についての情報交換。オンライン授業の実践報告。

## その他

今後何らかの形で高国研に貢献できるよう、研鑽に努めます。

様々な学校規模を超えたネットワーク作りや研修機会として、会の充実を期待します。

生徒のように、zoomだと発言もしやすかったです。10人未満のグループディスカッションくらいだと私には参加しやすいです。そういう意味でも身をもって、ICTの可能性を感じることができました。ありがとうございました。

今年も学びをいただきました。本当にありがとうございました。いつかお役に立てるよう精進します。

成田事務局長をはじめ事務局の皆さん、講師の皆さん、運営委員の皆さん、ありがとうございました。

会長 山本明敏

小樽桜陽教頭の沖野です。今回は諸事情により全く拝聴できませんでした。申し訳ありません。

運営の皆様、たいへんお疲れさまでした。

事務局の皆様、誠にありがとうございました。例年に比べ、心配なことが多かったと思いますが、スムーズに進行しており、ストレスなく受講できました。次年度も楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

運営のみなさま、講師のみなさま、ありがとうございました。

コロナ禍にありながら、実施、運営くださり、ありがとうございました。

対面で出来ると、一方通行でなく、実践も深まると思い、コロナの収束を望んでいます。

私はiPadで参加しました。「左下の青いボタン」などの指示が、きっとChromebook等を利用している人向けだったのだと思います。私のタブレットでは違いました。こういうことが、BYODだと起こりうるのだなと感じながら参加しました。

大変有意義な時間を持てました。接続環境の都合で12時までしか参加できなかったのが、とても名残惜しかったです。準備してくださった先生方ありがとうございました。またどうぞよろしくお願いします。

特にありません。

こちらの不手際でZoomに入るのに時間がかかってしまい、途中から参加しました。決められた時間に受付できず、申し訳ありませんでした。

学校で視聴中に感染症の緊急対応が発生したために途中で退室しました。とても残念であり、せっかく準備をしてくださったスタッフの皆様に申し訳なく存じます。

なし。

事務局の先生方、お忙しい中研修会を企画・運営していただき、ありがとうございました。